

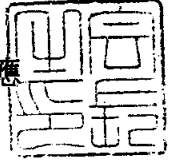


令和3年2月8日

中津市長 奥塚 正典 様

中津市廃棄物減量等推進審議会

会長 室長 大 應



ごみの減量・資源化を推進する施策について（答申）

令和2年6月29日付中環政第57号により諮問のありました「ごみの減量・資源化を推進する施策」について、別添「報告書」のとおり審議結果をとりまとめました。審議にあたっては、市が審議会の意見を「中津市家庭ごみ減量・資源化基本方針（素案）」としてとりまとめ、市民説明会の開催やパブリックコメントの実施などにより、広く市民の皆さまからいただいたご意見などを踏まえ、慎重に議論を重ねてまいりました。

その結果、ごみ減量・資源化を更に推進し、この中津市の環境を次世代に引き継いでいくために、施策の一体的な実施が必要との結論に至りましたので、下記のとおり答申します。

#### 記

1. 容器包装プラスチックの分別収集の早期実施
2. 生ごみキエーロの普及促進
3. 家庭ごみに係るごみ袋有料化制度の導入
4. ごみ・リサイクルミニ集会の拡充などその他の施策の着実な実施
5. 事業ごみの減量・資源化施策の推進

なお、これらの施策の実施時期については、社会経済情勢などを十分に考慮した上で、決定されるよう要望します。また、実施にあたっては、市民、事業者の皆さんに分かりやすく周知・啓発を行い、市民・事業者・行政が一体となって「環境共生都市なかつ」の実現に向けた取組みを着実に実行することを強く期待します。

以上